

地点番号	第一次スクリーニング							第二次スクリーニング計画													第二次スクリーニング				備考											
	盛土造成地の座標		盛土造成地の種類			大規模盛土造成地の抽出		優先度評価													その他		想定被害形態	土質・地下水調査		安定計算										
	名称	面積(m <sup>2</sup> )	原地盤面の勾配(度)	高さ(m)	谷埋め型	腹付け型	現地での確認	大規模盛土造成地の種類	①盛土/擁壁の形状・構造				②変状			③地下水		④不盛土定の土下層の		⑤造成年代		⑥変動確率		特記事項	優先度	住宅	公共施設等	既存調査結果(土質・地下水・N値等)		地下水位(GL-m)	安全率(地震時)Fs≥1					
									のり面勾配	小段間隔	保護面	ひな壇部分	擁壁構造	宅地擁壁	擁壁	のり面	周辺施設	水	不盛土定の土下層の	造成年代	方式1による変動確率(%)	優先度			住宅	公共施設等	既存調査結果(土質・地下水・N値等)									
1	砥部工業団地	78,040	7 18.7	28	○	○	不要	-	谷埋め型	標準	標準	標準	標準	重力	該当	無	無	無	有	有	無	H6～H18	後	8	小	過去の大震により中央部の盛土肩部が崩壊し、その影響によるひび割れが擁壁等に確認できるが、全体に滑動崩落のおそれは小さいと思われる。(土質・地下水調査、安定計算省略)	C	無	無	なし	-	調査ボーリングNo.	地下水位(GL-m)	安全率(地震時)Fs≥1		二次スクリーニング計画策定委託業務で経過観察と評価され、二次スクリーニングの対象外である。
2	栄団地	21,324	11 12.8	26	○	○	不要	-	谷埋め型	標準	標準	標準	標準	もたれ	該当	亀裂	亀裂傾斜	無	有	有	有	S54～S59	前	11	小	盛土境界付近の擁壁に多数の変状あり。(住人ヒアリングよりH13年芸予地震の影響と確認)年間を通して湧水が認められることから、地下水も豊富と判断。	A4	多數	集会所	なし	変形	BP.1 BP.2 BP.3	BP.1:5.00m BP.2:0.49m BP.3:3.29m	盛土全体(中間部～末端部のすべり):1.281 盛土全体(頭部～末端部のすべり):1.349 ひな壇(盛土末端部):1.230 ひな壇(2段目):1.372 ひな壇(3段目):1.494 ひな壇(4段目):1.231		無
3	大南ニュータウン(天神地区)	7,167	4 3.54	8	○	△	要	谷埋め型	谷埋め型	標準	標準	標準	標準	逆T	該当	亀裂	亀裂	無	有	有	有	S50～S54	前	7(方式2)	小	出水の痕跡のみで湧水は確認できなかったが、擁壁、路面の亀裂が多く認められることから、降雨時の地下水位の上昇により、宅地地盤が沈下していると思われる。	A4	多數	無	なし	変形	評価予定				